

教科	科目名	単位数	学年	学科またはコース	履修
情報	情報テクノロジー	2	3	全学科	選択

科目のねらい	情報社会を支える情報テクノロジーの基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
使用教材	「情報テクノロジー」(実教出版)、「コンピュータ入力問題集」(日本文教出版)

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4	25	1章 ハードウェア(応用) (1) コンピュータ (2) 周辺装置 (3) 標準化団体	○教科書やプリントの内容を理解する。 ◎ワープロの作成(発展問題)ができる。
	5			
	6			
	7			
二 学 期	8	31	2章 ソフトウェア(応用) (1) オペレーティングシステム (2) アプリケーションソフトウェア (3) 情報コンテンツに関する技術	○教科書やプリントの内容を理解する。 ◎表計算の処理(発展問題)ができる。
	9			
	10			
	11			
三 学 期	12			
	1	5	3章 情報システム(応用) (1) 情報システム (2) ネットワーク (3) データベース	○教科書やプリントの内容を理解する。 ◎個人ごと研究(レポート)に取り組む。
	2			

観 点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣 旨	課題に対して意欲的に取り組み、自分なりの工夫が見られる。	目的に応じて適切に情報を選択し要点をまとめることができる。	Word Excel 等のソフトウェアを用いてワープロや表計算ができる。	コンピュータのハードウェア・ソフトウェア等の知識が身についている。
評価方法	授業態度(観察) 提出物と制作物	授業態度(観察) 提出物と制作物	実技試験	筆記試験

以上のような観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末には5段階評価を行います。

評価項目、学習にあたって、評価点		
授業態度	休まず授業を受け、授業に対して意欲的に参加しているか。	10点
提出物等	指示にしたがって提出物や制作物を期限までに完成したか。	30点
実技試験	ワープロ(Word)や表計算(Excel)においてどこまでできるか。	30点
筆記試験	コンピュータや情報モラル等の基礎知識が身についているか。	30点
教科書の内容は難しいので、プリントに取り組みながら少しずつ理解しましょう。 実技の時間は、各種検定試験2級レベルへの到達を目標に練習していきます。		